

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療の検査・手術の後に保管されている残った組織を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている組織を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

乳癌における T F L 発現強度の臨床的意義に関する後方視的調査研究

【研究機関】 愛媛大学医学部肝胆膵・乳腺外科

【研究責任者】 愛媛大学医学部肝胆膵・乳腺外科 講師 亀井義明

【研究の目的】

神戸大学の研究で、リンパ腫の患者さんの組織から新しく染色体 6 番長腕に存在するがん抑制遺伝子候補 TFL が発見されました。この研究では、過去に受診された乳癌患者さんの診療録（カルテ）の情報と組織を TFL 遺伝子の発現量（多い、少ない）を免疫組織染色法で測定し、個々の患者さんの生命予後等に関連するかどうかを明らかにする事を目的としています。この研究は乳癌における有効な治療方法の検討を目的としたものであり、皆様の今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2011 年 4 月から 2018 年 9 月までの期間に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち乳癌と診断された患者さん

（利用するカルテ情報） 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等

（利用する試料） 通常の検査・診療で使用した後に残った組織

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個

人を特定できる情報は一切含まれません。

データ管理責任者：愛媛大学医学部肝胆膵・乳腺外科 村上朱里

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

村上朱里 愛媛大学医学部肝胆膵・乳腺外科

〒791-0295

愛媛県東温市志津川 愛媛大学医学部肝胆膵・乳腺外科

TEL 089-960-5327 FAX 089-960-5329